

SONY

マリンパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、いつでも見られるところに必ず保管してください。

必ずお読みください

- 実際に水中で撮影する前に、水深1mくらいのところで、デジタルカメラが正常に動作するか、またマリンパックに水漏れがないかを確認してから潜水を始めてください。
- 万マリンパックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（デジタルカメラ、バッテリーなど）の損害、記録内容、および撮影を要した諸費用などの補償はご容赦ください。
- マリンパックおよび内部機器に対するソニー水中機材用損害保険をご用意しております。案内書をお読みのうえ、ご加入をおすすめします。

MPK-P1

Sony Corporation © 2000 Printed in Japan

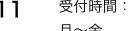
主な特長

- 本機はソニーのデジタルスチルカメラDSC-P1専用のマリンパックです。
- お手持ちのデジタルスチルカメラに本機を取りつけると、雨天時や海辺（水中では水深30m以内）また雪や雨などの悪天候時の撮影ができます。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル 0570-00-3311



(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311

● Fax 0466-31-2595

受付時間：

月～金
9:00～20:00土・日・祝日
9:00～17:00Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクス＆エンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

マリンパックを使う（つづき）

ダイピングの前に

水中撮影をする前に、水深1m程度のところで正常に動作するか、また水漏れがないかを確認してから潜水を始めてください。

デジタルカメラは、ダイピングの前にあらかじめマリンパックに取り付け、船上や海岸などでマリンパックの開閉は、できるだけ避けてください。デジタルカメラを取り付けるときは、できるだけ湿気の少ないところで行ってください。

ご使用の前に、マリンパックの前後のボディの間に異物のはさみごみがないかを確認してください。

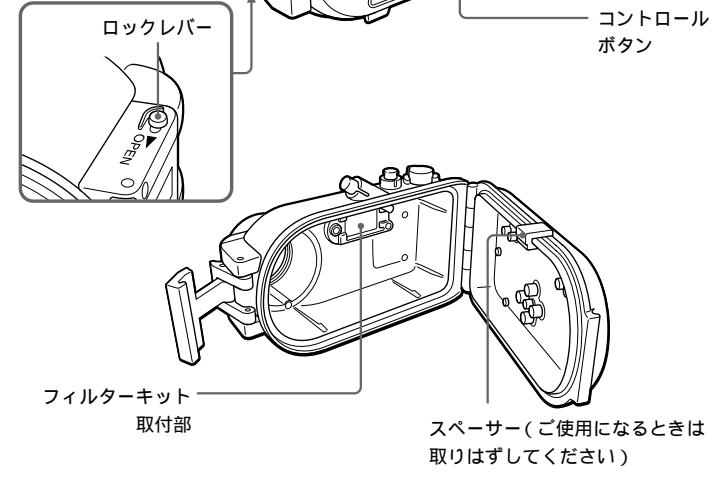
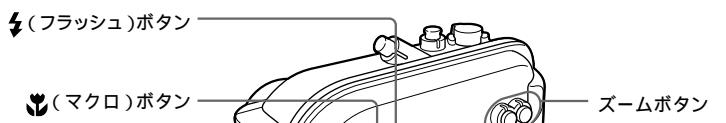
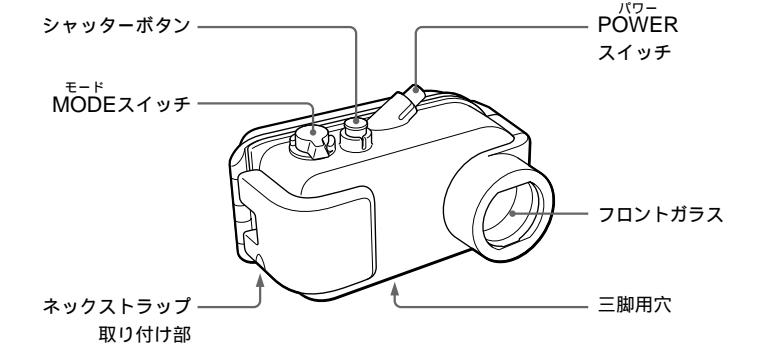
水中で撮影すると、被写体の色に青みがかかることがあります。このような場合は、色の補正に別売りのカラーフィルターキットVF-MP1Kをお使いになることをおすすめします。

撮影に適した時間

太陽が真上にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。

太陽の光が届きにくい場所での撮影や夜間の撮影には、水中ビデオライトHVL-ML20をお使いください。

各部のなまえ



主な仕様

材質

プラスチック(PC、ABS)、ステンレス、ガラス

防水構造

Oリング、パックル

耐圧

水深30mまで

外部より操作可能なスイッチ

POWER(パワー) MODE(モード) シャッター、ズーム、フラッシュ、マクロ、コントロール

最大外形寸法

150×80×86 mm
(幅／高さ／奥行き)

質量

約300g (本体のみ)

付属品

ネックストラップ(1)
グリス(1)
くもり止めリキッド(1)

取扱説明書(1)

保証書(1)

ソニーご相談窓口のご案内(1)

水中機材用損害保険のご案内(1)

別売アクセサリ

カラーフィルターキット :
VF-MP1K

アームキット : VCT-MP1K

水中ビデオライト : HVL-ML20

(アームキットVCT-MP1K、“インフォリチウム”(シリーズ)バッテリ -、バッテリ -チャージャーとの併用が必要です)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります

がござります

保証書は国内に限られています

付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社ではマリンパックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名 : MPK-P1

故障の状態 : できるだけ詳しくお買い上げ日

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受けとりください。

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

別売アクセサリ

カラーフィルターキット :
VF-MP1K

アームキット : VCT-MP1K

水中ビデオライト : HVL-ML20

(アームキットVCT-MP1K、“インフォリチウム”(シリーズ)バッテリ -、バッテリ -チャージャーとの併用が必要です)

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社ではマリンパックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名 : MPK-P1

故障の状態 : できるだけ詳しくお買い上げ日

取り扱い上の注意

本体の前にあるガラス面に強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。

海辺や海上でのマリンパックの開閉はできるだけ避けてください。

デジタルスチルカメラの取り付けや、船上や海岸などでマリンパックの開閉は、できるだけ避けてください。

デジタルカメラを取り付けるときは、できるだけ湿気の少ないところで行ってください。

ご使用の前に、マリンパックの前後のボディの間に異物のはさみごみがないかを確認してください。

水中で撮影すると、被写体の色に青みがかかることがあります。このような場合は、色の補正に別売りのカラーフィルターキットVF-MP1Kをお使いになることをおすすめします。

お手入れのしかた

海でご使用した後は、必ず、パックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分や砂をあとしてから、乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になります。

マリンパックを水中に投げ込んだりしないでください。

波が高い場所でのご使用は避けてください。

次のような環境でのご使用は避けてください。

- 高温多湿な場所

- 40°を越える温水の中

- 0°以下の場所

結露、水漏れ、デジタルスチルカメラの故障の原因になります。

周囲温度が35°を超えるときのご使用は、連続30分以内にしてください。

高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。

グリスはOリングを保護し、磨耗を防ぎます。

グリスは指で薄く均一に塗るか、Oリングと少量のグリスをビニール袋に入れ両手で丁寧にもみこむようにしてください。紙や布は、繊維が付着することがありますので使わないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので、使わないでください。

Oリングの表面には、いつも薄くグリスがついているようにしてください。

保管するときは

Oリングの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。

水漏れについて

万マリンパック内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。

デジタルスチルカメラが濡れた場合は、至急お近くのソニーのサービス窓口へお持ちください。

くもり止めリキッドについて

マリンパック前部のガラス面に付属のくもり止めリキッドを塗布すると、くもり防止に効果があります。

くもり止めリキッドの使用方法

マリンパックのボディを開じるときは

Oリングが溝からはずれないことを確認してください。Oリングをはさみ込むと、Oリングに傷がつくだけでなく、マリンパック内部への漏水の原因になります。

くもり止めリキッドについて

マリンパック前部のガラス面に付属のくもり止めリキッドを塗布すると、くもり防止に効果があります。

Oリングの耐用年数

マリンパックの使用頻度や保存の状態によって変わりますが、一年程度です。

Oリングは、お近くのソニーのサービス窓口でお求めいただけます（番号3-065-033-01）。

Oリングの保管

予備のOリング（別売り）は直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。重いものを乗せたり、折り曲げたりしないでください。

水漏れの確認方法

Oリング交換後は、デジタルスチルカメラを収納する前にマリンパックを開じて、水中（15cm位）に約3分間沈めて水漏れがないことを確認してください。

Oリングについて

本機はOリング（オーリング）を使用して防水性を保っています。Oリングの機能を充分に生かすため、次の点にご注意ください。

Oリングの取り扱い方が不適切だと漏水の原因になります。

お手入れのしかた

海でご使用した後は、必ず、パックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分や砂をあとしてから、乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。

それでも正常に作動しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使い方をすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐためにつぎのことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する



警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



下記の注意事項を守らないと、事故により死亡や大けがの原因となります。

潜水中の使用は周囲の状況を把握し、安全に充分注意を払う

注意を怠ると、潜水事故の原因となります。

万一、マリンパックに水漏れが発生した場合

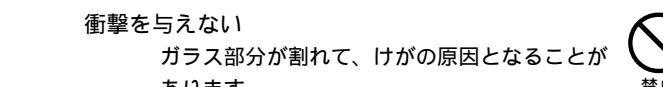
浮上時の減圧時間を作り、周囲の状況に注意しながら浮上してください。



下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

衝撃を与えない

ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。



注意



注意

準備

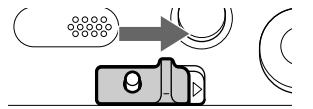
デジタルスチルカメラの準備

デジタルスチルカメラDSC-P1の取扱説明書もあわせてご覧ください。

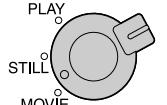
- 1 リストストラップをはずす。
- 2 バッテリーを取り付ける。
充分に充電してあるバッテリーを取り付けてください。
- 3 "メモリースティック"を入れる。
- 4 デジタルスチルカメラの電源を入れる。
- 5 デジタルスチルカメラの液晶画面をONにする。
- 6 デジタルスチルカメラの設定を自動調節[オート]にする。
詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

デジタルスチルカメラを取り付ける

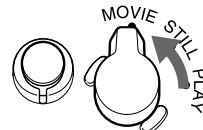
- 1 デジタルスチルカメラの電源を切る。



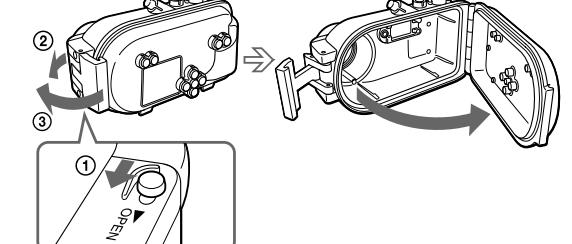
- 2 デジタルスチルカメラのMODEスイッチを「MOVIE」にする。



- 3 マリンパックのMODEスイッチを「MOVIE」にする。



- 4 マリンパックを開ける。



ロックレバーを解除しながら(①)バックルを矢印②、③の方向にはし、マリンパックのボディを開く。

ご注意

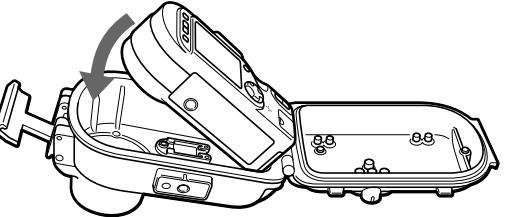
付属の黒いゴムの部品はスペーサーです。マリンパックを保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

5 マリンパックの準備をする。

- ① Oリングにグリスを塗る。
Oリング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、Oリングに薄く均一にグリスを塗ります。
砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体に傷をつけたり、浸水の原因となることがあります。
- ② フロントガラスにくもり止めリキッドを塗る。
マリンパック前部のガラス面の内側に付属のくもり止めリキッドを塗布します。

6 マリンパックに取り付ける。

デジタルスチルカメラのレンズや液晶画面が汚れていないことを確認してください。



7 ボディーを閉じて、バックルを締める。

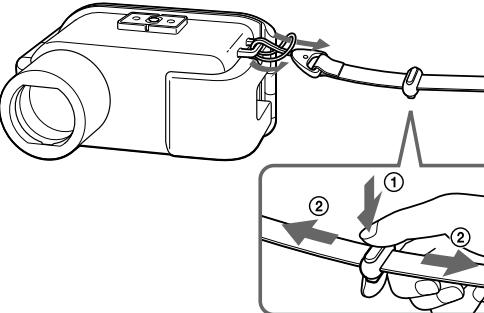
ボディーをしっかりと押さえ、バックルがカチッとロックされるまで締めます。

ご注意

マリンパックのボディを閉じるとき、Oリングの表面とマリンパックの溝に、ゴミや砂、毛髪などがついていないことを確かめてください。上記のような異物を挟み込むと、浸水の原因となることがあります。

ネックストラップについて

ご使用前に付属のネックストラップを取り付けることをおすすめします。



さまざまな機能を使う

マリンパックに収納したデジタルスチルカメラDSC-P1のさまざまな機能を使うことができます。

マクロ撮影をする フラッシュを使う

さまざまな設定をする



ズームする

ズームボタンを押します。
ファインダーで撮影しているとき、画面の一部が欠け(ケラレ)ますが、撮影画像には影響ありません。

W側を押し続けると、
徐々に広角(Wide)になります。
T側を押し続けると、
徐々に望遠(Telephoto)になります。

ご注意

撮影一時停止状態が3分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、POWERスイッチを「ON」にしてください。

くわしくはデジタルスチルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

さまざまな機能を使う

マリンパックに収納したデジタルスチルカメラDSC-P1のさまざまな機能を使うことができます。

マクロ撮影をする フラッシュを使う

さまざまな設定をする



ズームする

ズームボタンを押します。
ファインダーで撮影しているとき、画面の一部が欠け(ケラレ)ますが、撮影画像には影響ありません。

W側を押し続けると、
徐々に広角(Wide)になります。
T側を押し続けると、
徐々に望遠(Telephoto)になります。

ご注意

撮影一時停止状態が3分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、POWERスイッチを「ON」にしてください。

くわしくはデジタルスチルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

さまざまな機能を使う

マリンパックに収納したデジタルスチルカメラDSC-P1のさまざまな機能を使うことができます。

マクロ撮影をする フラッシュを使う

さまざまな設定をする



ズームする

ズームボタンを押します。
ファインダーで撮影しているとき、画面の一部が欠け(ケラレ)ますが、撮影画像には影響ありません。

W側を押し続けると、
徐々に広角(Wide)になります。
T側を押し続けると、
徐々に望遠(Telephoto)になります。

ご注意

撮影一時停止状態が3分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、POWERスイッチを「ON」にしてください。

くわしくはデジタルスチルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

さまざまな機能を使う

マリンパックに収納したデジタルスチルカメラDSC-P1のさまざまな機能を使うことができます。

マクロ撮影をする フラッシュを使う

さまざまな設定をする



ズームする

ズームボタンを押します。
ファインダーで撮影しているとき、画面の一部が欠け(ケラレ)ますが、撮影画像には影響ありません。

W側を押し続けると、
徐々に広角(Wide)になります。
T側を押し続けると、
徐々に望遠(Telephoto)になります。

ご注意

撮影一時停止状態が3分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、POWERスイッチを「ON」にしてください。

くわしくはデジタルスチルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

さまざまな機能を使う

マリンパックに収納したデジタルスチルカメラDSC-P1のさまざまな機能を使うことができます。

マクロ撮影をする フラッシュを使う

さまざまな設定をする



ズームする

ズームボタンを押します。
ファインダーで撮影しているとき、画面の一部が欠け(ケラレ)ますが、撮影画像には影響ありません。

W側を押し続けると、
徐々に広角(Wide)になります。
T側を押し続けると、
徐々に望遠(Telephoto)になります。

ご注意

撮影一時停止状態が3分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、POWERスイッチを「ON」にしてください。

くわしくはデジタルスチルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

さまざまな機能を使う

マリンパックに収納したデジタルスチルカメラDSC-P1のさまざまな機能を使うことができます。

マクロ撮影をする フラッシュを使う

さまざまな設定をする



ズームする

ズームボタンを押します。
ファインダーで撮影しているとき、画面の一部が欠け(ケラレ)ますが、撮影画像には影響ありません。

W側を押し続けると、
徐々に広角(Wide)になります。
T側を押し続けると、
徐々に望遠(Telephoto)になります。

ご注意

撮影一時停止状態が3分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、POWERスイッチを「ON」にしてください。

くわしくはデジタルスチルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

さまざまな機能を使う

マリンパックに収納したデジタルスチルカメラDSC-P1のさまざまな機能を使うことができます。

マクロ撮影をする フラッシュを使う

さまざまな設定をする



ズームする

ズームボタンを押します。
ファインダーで撮影しているとき、画面の一部が欠け(ケラレ)ますが、撮影画像には影響ありません。

W側を押し続けると、
徐々に広角(Wide)になります。
T側を押し続けると、
徐々に望遠(Telephoto)になります。

ご注意

撮影一時停止状態が3分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、POWERスイッチを「ON」にしてください。

くわしくはデジタルスチルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

さまざまな機能を使う

マリンパックに収納したデジタルスチルカメラDSC-P1のさまざまな機能を使うことができます。

マクロ撮影をする フラッシュを使う

さまざまな設定をする



ズームする

ズームボタンを押します。
ファインダーで撮影しているとき、画面の一部が欠け(ケラレ)ますが、撮影画像には影響ありません。

W側を押し続けると、
徐々に広角(Wide)になります。
T側を押し続けると、
徐々に望遠(Telephoto)になります。

ご注意

撮影一時停止状態が3分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、POWERスイッチを「ON」にしてください。

くわしくはデジタルスチルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。